

来場等に関する注意事項

来場にあたっては、3つの密（密閉、密集、密接）を避け、参加競技者及び引率者（監督・コーチまたは引率顧問、保護者引率の場合は保護者1名）のみで来場してください。

【選手の入退場について】

- * 体調管理シートは、出場種目数分（リレー含む）を準備してください。
- * 競技場へは、競技開始2時間前から入場できます。競技場南ゲートで受付を行います。体調管理シートに検印を受け、入場してください。招集までに入退場するときは、体調管理シートを見せてください。
- * 招集時に招集所で体調管理シートを提出してください。
- * 競技終了後、すみやかに競技場から退場してください。

【引率者・審判・マネージャーの入退場について】

- * 受付は正面玄関前で実施します。体調管理シートを提出し、入場してください。
- * 受付後、引率者・マネージャーはリストバンド、審判は審判証を見せて、入退場してください。
- * マネージャーは、各団体2名まで入場を認めます。受付後の入退場は南側ゲートのみとします。
- * メインスタンドは、審判・顧問・マネージャー・引率者のみ入れます。

【待機場所について】

- * 団体等の待機場所は以下のとおりです。
レクリエーション広場の外周のみ許可します。場所の指定は行いませんので、各団体で譲り合って使用してください。上記以外の瑞穂公園内の他の場所、特に野球場の軒下・地下駐車場等にシート・テント等を利用して待機場所として使用しないでください。

競技注意事項

- 1 本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施します。
- 2 アスリートビブスについて
 - (1) 本年度の登録番号をユニフォームの胸、背に確実につけてください。
跳躍種目は、背または胸につけるだけでも構いません。
 - (2) トラック競技のうち800m以上の種目に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付します。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつけてください。
 - (3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（フィニッシュ前方スタンド側）に返却してください。
- 3 ウォーミングアップについて
 - ・ウォーミングアップ場は、レクリエーション広場とします。最終種目の招集開始時刻まで使用できます。
 - ・地下駐車場・野球場軒下でのウォーミングアップは禁止です（特に雨天時）。
 - ・競技開始前の競技場のトラックは、大会の準備に支障のない範囲で競技時間2時間前の競技に出場する競技者に限り、最初のトラック競技開始時刻15分前まで使用しても構いません。
 - ・競技実施中も競技進行に支障がない範囲で競技場のコース使用を認めます。競技役員の指示に従って安全に配慮して行ってください。
 - ・競技場では、持込の牽引用チューブやミニハードル等の使用は禁止します。
 - ・使用した競技用の器具（スターティングブロック、ハードル等）は練習終了後、元の位置に戻してください。

- ・各ハードル競技の開始時刻の10分間程度、ハードル練習をすることができます。

4 招集について

- (1) 招集所は200mスタート付近倉庫前に招集所に設けます。すべての種目の招集をこの場所で行います。
- (2) 招集の受付は本人が行ってください。時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めません。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準として、次のとおりとします。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	35分前	20分前
フィールド競技	すべての種目	55分前	40分前

- (4) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、招集開始時刻前の招集を認めますので競技者係主任（招集所）に事前に申し出てください。

5 競技場への入退場について

- (1) 入退場は、南側ゲートのみとします。競技役員の指示に従ってください。

6 レーン順・試技順について

- (1) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示します。
- (2) 欠場者のレーンは100m～400mの距離の種目では空けます。その他の種目については競技役員の指示に従ってください。

7 競技について すべての種目をタイムレースとします。

- ①この大会のスタートは競技規則TR16によって実施します。
- ②すべて写真判定装置を使用します。
- ③短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走ってください。
- ④番組編成は申込記録上位から1組、下位を2組以降とすることを原則とします。
- ⑤同タイムの着差は、1000分の1秒差までで判定します。
- ⑥レース中に競技者が自らの意志でトラックを離れた場合は、そのレースを継続することができません(DNFとなります)。

- (1) 競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則TR6.3.2で禁止されたビデオ装置・ラジオ・CDプレイヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することができません。
- (2) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外されます。警告は黄黒色（斜め半分形）のカード、除外は赤黒色（斜め半分形）のカードを示すことにより競技者に知らされます。

8 競技用器具について

競技に使用する器具は主催者が用意したものを使用しなければなりません。ただし、やりについては、競技場に無いもの、もしくは1つしかない物の場合は持ち込みを認めますので、希望者は各競技の招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に南側器具庫（フィニッシュライン付近）でやりの検査を受けてください。検査に合格したやりは、預かり証を発行の上、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとします。

9 競技用靴について（TR5参照）

スパイクの長さは9mm以内とします。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とします。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければなりません。なお、スパイクの数は11本以内です。

規定に合致しない靴は使用出来ませんのでご注意ください。使用した場合は失格となります。

※競技規則TR5シューズに関するルールによって800m未満のトラック種目では20mm、800m以上のトラック種目では靴底の厚さが25mmを超えるシューズは使用不可です。

ただし、2021年4月14日付の日本陸連発文書『陸連21第5-2号』に基づいて、本大会ではフィールド競技用シューズの競技規則TR5を適用せずを実施します。記録は国内の公認として認められます。フィールド種目については、WAへの申請は行いませんので、国際大会への参加資格としてはなりませんことをご確認ください。

※靴底の厚さが適正であるかわからない場合は、必ず招集所で申請し、靴底の厚さを計測してください。

10 瑞穂北陸上競技場の使用について

- (1) 今回の開門時刻は、午前7時30分とします。それ以前には立ち入らないでください。場所取りは行わないでください。
- (2) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任を持って行き、環境美化に努めてください。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

11 一般的注意事項

- (1) 本大会はコンピュータを活用して競技会運営を行いますので、氏名・所属等の間違いがあれば本部に申し出てください。
- (2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにしてください。更衣後の荷物は各自で管理してください。
- (3) 貴重品類は、各自で保管してください。万一の事故があっても、責任は負いません。盗難には十分に注意してください。
- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室において処置が受られます。なお、応急処置後の治療は、本人負担とします。
* 本競技会の結果は、記録速報のほかリザルトが公表されます。結果には、順位・記録のほか選手の氏名・所属・学年を含みます。

◆選手の人権保護の観点から、保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。けがの治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者が持参してください。